

令和8年度 広島大学附属幼稚園（三原園舎）経営方針

経営理念

「自ら伸びよ」の理念のもと、附属三原小学校・附属三原中学校とともに、幼小中の学びの連続性を基盤とする保育研究・保育実習・教員研修に取り組み広島大学附属学校にふさわしい指導的役割を果たす。また、教職員の研究・研修センターの役割を担い地域に貢献する。

中期経営計画(令和6年度～令和9年度)

○保育研究・保育実践

- ・附属三原小学校・附属三原中学校とともに、接続を基盤とした研究ができる強みを最大限に生かし、学びの連続性が見える先進的な実践により、接続課題の改善の汎用性を目指す。
- ・東広島園舎との実践交流や幼年教育施設との連携を図りながら、環境や生活を生かした保育の質の向上を目指す。

○人材育成

- ・個人研究、委託研究などの機会を活かし自己伸長を図る。
- ・行事、業務、システム等の見直しを進め業務の効率化を図る。
- ・教育実習を充実させ、教職員の養成に努める。

○地域貢献

- ・研修の場の提供や積極的な情報発信によって、モデルとなる幼稚園としての存在意義を高めることで、国立の附属幼稚園が担っている使命を果たす。

令和8年度経営方針

○保育研究・保育実践

- ・附属三原小学校とともに、柔軟な接続による学びの連続性を目指した研究を行うとともに、汎用的性の高い接続カリキュラムの作成や保育・授業実践を発信する。
- ・異校種間・異学年交流を通して「互惠性」を追究する。
- ・2園舎のメリットを活かし、職員・園児の交流や保育実践の交流を通して保育の質の向上に努める。

○生徒指導

- ・良好な人間関係の基盤づくりをするために、子供のコミュニケーション能力の向上に努める。

○人材育成

- ・全ての業務を自己能力の伸長過程と捉え、自らの成長を俯瞰的に評価しながら自己研鑽に努める。
- ・校種に応じた業務の遂行にとどまらず、校種や職種の違いを尊重し合いながら、経営資源（ヒト、モノ、カネ、ジカン）を効率よく活用し、時間管理と個々の働きやすさを追求する。
- ・業務内容の精選や校務分掌の平準化、時間割の弾力的運用等を行い、一人あたりの月時間外労働を38時間未満とする。
- ・教育実習については、実習満足度を高水準に保つとともに、指導する側も自らの教育実を見直す場として「気づき」を大切にする。

○地域貢献・広報

- ・「わかりやすさ」を追求した情報発信を行うとともに、他校園からの依頼(研究協力や講師派遣、視察等)には積極的に応じる。
- ・幼稚園の教育理念、教育活動とその成果を保護者に分かりやすく説明し学校経営への理解を深める。
- ・教育行政機関と連携し、県内外の先生方と共に保育の質の向上や接続課題の改善について学びあえる研修を実施し、附属三原学校園が担っている使命に応える。